

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【公開番号】特開 2002-212755 (P2002-212755A)

【公開日】平成 14 年 7 月 31 日 (2002.7.31)

【出願番号】特願 2001-316606 (P2001-316606)

【国際特許分類第 7 版】

C 2 3 C 26/00

B 0 5 D 7/14

B 3 2 B 15/08

B 3 2 B 27/30

B 3 2 B 27/34

B 3 2 B 27/38

C 0 9 D 5/00

C 0 9 D 163/00

【F I】

C 2 3 C 26/00 A

B 0 5 D 7/14 Z

B 3 2 B 15/08 S

B 3 2 B 27/30 D

B 3 2 B 27/34

B 3 2 B 27/38

C 0 9 D 5/00 D

C 0 9 D 163/00

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 15 日 (2004.10.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 1】

Araldite PZ-3901 (以下、P Z と称する) 及び Waterpoxy WEX-13-258 (以下、W E X と称する) はそれぞれ完全な湿潤及び接着性格付け 3 (格付けの基準は表 3 に与える) を達成した。本質的に前記のようにして適用された懸濁液 (約 10 重量%) を用い、Araldite PZ-3902 は湿潤、平滑なコーティング及び十分な初期接着性をもたらすが、P Z や W E X ほど良好な性能を持たないと判定された。これは、切り取って網目模様をつけたサンプルを沸騰水中に浸漬した後に維持される接着性によって決定した。従って、PZ-3902 を用いたさらなる研究は行なわなかった。比較のために、2 つの標準的な溶剤ベースの下塗製品である Rilprim P (約 10 重量% の濃度のもの) 及び Rilprim 204-A/104-B (約 17 重量% の濃度のもの) を試験し、これらも完全な湿潤及び接着性格付け 3 を達成した。Rilprim 204-A/104-B は腐蝕防止用クロム酸塩化合物を含有し、他方 Rilprim P は腐蝕防止用化合物を何ら含有しない。これらの下塗は、標準的な手順に従って用いた。溶剤ベースの下塗の評価のために用いた炭素鋼パネル (Q-Panel 社、Type S-36) は、直前に記載したのと同じ態様で調製した。R F P 製品 (即ち Natural ES) によるコーティングも同様に正確に同じ態様で行なった。